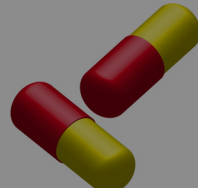




明らかに
怪しかったが

透明人間になれる薬と
いうものをネットで買って
みた

妹のことが心配で
心配で…いてもたっても
いられなかったのだ



先生っ
おはようっ！

朝ごはん
冷めちゃう
よっ！

もっつ
何回呼んだって
起きないん
だからっ

ごめん
ごめん

でも美琴こそ
何回言っても
「先生」がなおん
ないなっ

家では僕のこと
名前で呼ぶように
って言っただろ？

だっ
だって……

いっ いいでしょ
別に……先生は
先生なんだし……

でも家では
「美琴の旦那さん」
だろ？

何だ 名前で
呼ぶのがそんなに
恥ずかしいのか？

もっ っいいからはやくっ
はみがきしてきてっ！
ごはん冷めちゃうっ！

っっ
※

すっ
すっ

すっ
すっ

も…
先生ってば

私のことすぐ
からかってくるん
だから…

でも…
えへ…
大好き…
だよ…

お兄ちゃん—

まだ学生なのに結婚して
心配かけちゃったと思うけど…

大好きだった先生に
告白されて…

結婚までできて…私
今とっても幸せです



やっべえ
朝からヘドが
でそう……

なんだこの
少女マンガの
世界……

俺 美琴の兄
現在 透明状態

ズー！…

俺は怪しい薬使い
無事**透明人間**になれた

一体どういう仕組み……
いや 深くは考えまい

さっそく裸になり
妹の新婚家庭に
忍び込んだのはいいが……
想像以上にキツかった……

なんだ朝いちから
このイチヤツき
よう……

くそっ……くそっ……
美琴の「おはよう」は
俺のもんだったのに……

何が
「照れてんの?」っだよ
あのクソ虫野郎……

ブー……

俺の最愛の妹
「美琴」(みこと)……

美琴が結婚すると
言いだした時は
本当に憤死するかと
思った

まだ美琴は●校生だぞ？

ちよつとイケメンだから
って教師のくせに生徒を
たぶらかしやがって
このクソ虫野郎……

おっ自分も
つまらんかな

先生
食べよ
食べよ

「二人の愛は本物だ」とか
「一秒でも早く一緒に
いたい」とか

クソ虫がのたまった時は
思わず凶器になるような
ものを探してしまった

両親が既にいないうちでは
兄の俺が美琴の親代わりで



もちろん結婚には
全力で反対したけれど

このままだと駆け落ち
してしまいそうな勢いだったので
泣く泣く許しざるえなかった

ただし苦し紛れにひとつだけ
二人に約束をさせて――…

ハッ

おやすみ
美琴



うん

おやすみなさい
先生

ワスッ

ん？

何笑って
るの？

うん 美琴ってさ
朝起きる時まで
ずっとそのまま

僕のほう向いて
寝てくれてる
よね♪

え…っ!?

いっしょ

ちっ
ちがうよおっ!

かあ〜

もっ…もっ
先生てばっ!

ちがいます
からっ!

たまたま寝相が
たまたまそうなって…
たまたまなんだからっ!

いや そんなに
必死にならんでも…
ホント照れ屋だなあ

僕は

そういうところが
可愛いって思っ
てるんだよ

うゝ……
ずるいゝ……

どろん

先生は
ずるいです……

本当の
ことだから

どろん

……美琴
大好きだよ

きゅん

う……っ
うん……わ……
私も……

どろん

……
……
……



み…美琴……
キスも……

え……？

キ…キスも……
しちやダメなの
かな…

キスだけなら……

だ……っ

ダメだよっ
ダメ……っ！

やつ
約束だもん……っ

お兄ちゃんと
約束した
から……っ

私が卒業するまで
そういうことは
しないって……

そ……
そうだな……

約束だもんな
美琴の大切な
お兄さんとの……

ごめんな
変なこと言つて……

僕は……美琴と一緒に
いれるだけで十分
幸せだからな

う……
うん……

キス……

したいな……
ホントは私だつて
先生とキスして
みたいんだよ……？

どんな……
感じなんだろ
キスつて……

ホントは
もつといろんな
こと……

もつとギュッと
しあつて……
もつと……

きゅん……♡

きゅん……♡



あつぶねえええつ
あいつキスしようと
しやがった…っつ

約束が守られてるか
監視しに来て
大正解…っつー!!

クソ虫野郎がああつ
約束破つて美琴に
手だしたらドタマ
かちわつてやるから
なっつー!!



俺はふたりに
「美琴が卒業するまでは
一切触れ合わない」という
約束をさせた

少しでも美琴の
貞操の危機を遠ざけ
たかったのだ

俺は知っているぞ
この男が美琴の写真を
みながらソロ活動
(オナニー)に励んで
いることを……

つやつや。ピチ。ピチの
はじける肌……

大きなおっぱい……

むっちり安産型の
でか尻……

女子●生でありながら
トップグラドルのように
スタイル抜群の美琴

はっはっはっ！
そのボディを目の
当たりにしながら
一切手を出せないと
いう地獄！

とくと味わうが
いいっ！

まっ♡

し…しかし…
無防備な
姿だな…

ちよつと気が緩ん
でんじゃないのか…

こんな間近に俺が
いるとも知らずに
………

しかし……間近で
みると……ホント
肉付きのいい身体
だな……あ……っ

パ……パンツ……
みえてないか……

う……も……もう
少し……少しだけ
顔を近づけても
バレない……よな……？

今は俺……
透明なんだし
………

レ……ん……

レ……ん……

レ……ん……

美琴のパンツに
吸い寄せられるように
股間に顔を近づけた

いつのまにか
チンポはパンパンに
膨らんでいる

あ…ああ…
甘酸っぱい…
匂い……

こ…これが
美琴の大事な
ところの匂い……

美琴のむちむちボディを
毎日目の当たりにしながら

一切手をだせなかったのは
俺も同じだったのだ——

妹だからダメだと
自分にいいきかせ

振り払ってきた
あの妄想……

妄想の中で何度も
辿り着いたあの場所の
匂いを……今リアルに
嗅いでいる……っ



はぁ……
はぁ……

す……
少し……

もう少しだけ……
奥を……チラッと
みるくらいなら……

フル...

あ.....っ



ああ...っ

スルル...

あああ...っ

.....うあ...っ
あう.....あ.....



あああ……
ああああつ

ああああああつ
しつ……尻いい……つ

美琴の……
尻だああ……っ！

すげえええつ

ホントにむっちゃん
むっちゃんじゃねえ
か……っ

パ……パンツ
食い込んで……
エロいい……っ！



あああつホントに
なんて柔らかか
そうなの……

あ……っ

ピカッ

むぎゅっ

ひゅっ……

どっ どうしたっ
美琴！

い…っ
今お尻…
せんせ…
だっ…
誰か…

誰かが
この部屋に…
い…っ
います…っ

ぶる

ぶる…

ええっ!?



——うーん
戸締りは
問題ないし

家中みて
みたけど
誰もいないよ

やっぱり夢でも
みたんじゃないのかな？

う……で……
でも……

それじゃあ
お化けかなあ？

ええっ!?

ははっ 冗談だよ
さあ もう寝よう
明日も早いんだから





……は……はい……
ごめんなさい……

……気のせい……
だったのかな……

先生疲れてるのに
起こして……悪いこと
しちゃった……

ビーン… ビーン…

——…思わず
揉んでしまった…

完全に無意識…
勝手に手が伸びたと
いつてもいい

手の平には美琴の
尻の感触がまだ
鮮明に残っていた

むちゃくちゃ…
柔らかかった…

すべすべで
むっちりしていて
温かい……

この身体をいつかは
この男に…こんな奴に
食われてしまうのか
く……
くそおお……っ……



くそおおおつ

キュウ

!!?

あ……ああ……

ほーっ
ほーっ

がが

がが

う……
うそ……

やっぱり「何か」……
「何か」いるうう……

ひ……

あ……

あに、あに、



で…っ
でもないない……

ほーっ
ほーっ

うしろ……
何もいない……

でも……でも……
耳元には……は……
生暖かい息が……

ああ……おっ……
おっぱい……
揉まれて……る……？

ひ……

あ……

あ……
あ……

がっ

がっ

美琴お……っ
美琴のおっぱいだ……っ

ほっ
ほっ

触ってやる……っ

この男に触られる
くらいなら
俺が最初に……っ

すまん美琴
触るだけ……っ

少しおっぱい
触るだけだから……っ
ひどいことはしない
すぐに終わるから
な……っ

あゝ
あゝ

ひ……
あ……

密着して感じる
肌のぬくもり…

ほっ
ほっ

髪の毛の甘い香り…

そして絶対に触ることが
許されない妹のおっぱい……っ

ああ…なかなか
離れられん…っ

食い込ませた指から
伝わる乳肉の感触が
たまんねえ……っ

妹のおっぱいって
気持ちいいイ……っ

ああ……美琴……っ
美琴おお……っ

あゝ
あゝ

怖い…ああ…
背中の方が熱い…

ほっ
ほっ

見えないのに…
腕や指がゴツゴツして
いるのがわかる…

お化けって
こんなに住々しい
ものの…

どうしよう…
どうしよう…先生を
起こそうか…でも
消えてくれるかも…

お願い…っ消えて…っ
消えてくれたら
それでいいからあ…

あゝ
あゝ

指にときどき当たる
乳首が徐々に硬く
なるのを感じていた

なんだか…ジンジン…
してきて…んんっ…
や…指止めてえ…

クリクリと指で乳首を
擦りあげながら
ポリュームのある乳肉を
揉みしだきつつける

や…あ

んんっ♡

んんんっ♡

びく

びく

びく

びく

びく

びく

あゝ

あゝ

んん…♡
ふふっ

んん…♡
ふふっ



美琴はもじもじと
体をくねらせはじめた

首筋までほんのり赤くなり
ぽつとりとした唇からは
不規則に甘い吐息が
漏れている

乳首はコリコリと
完全に勃起している
ように思えた

か……感じて
るのか……？

まさか……
俺の美琴が……

こんなわけの
わからないものに
おっぱいをいじられて
感じるわけがない……

あ……っ！

ち……

フルッ

ン

ン

フッ
フッ

ぬ…っ
濡れて……っ

あゝっ

あ

あゝっ

ふっ
ふっ

ビシヨビシヨじゃ
ねえか…っ

まん汁が
溢れてる……っ

やっ
っ

あゝっ

あの清纯な美琴が…
ちよつとおっぱい
触られたくらいで
こんな………

ん
ん
ん

ダメっコレっ…っあ…っ
ダメだ…っコレえっ

指を下着の上から
縦線にそって動かすと
ぬちゅぬちゅと湿った
音が響いた

美琴どういうつもりだ！
お前っこんなにエロイ娘
だったのかああ…っ

お兄ちゃんは…っ
お兄ちゃんはお前を
そんないやらしく
育てた覚えはないぞおおっ

あゝ

あゝ

はっ
はっ

フッ
フッ

触られちゃ
ダメなとこ…
触られて…る…っ

はっ
はっ
はっ

ハッ
ハッ

いつ…いやまて…
他の可能性…

そうだ
おしつこを漏らした
可能性もある…っ

はあ…っはあ…っ
たっ…確かめねば…

はあ…っ

はあ…っ

ニク

ひ……っ

あ…ああ…っ
あああああ…っ

まん…っ…っ…っ

これが妹の…っ
美琴のまんこ…っ…っ…っ！

びる

あ…

目が釘付けになる

薄暗いが濡れて光るまん肉も
ビラビラの形もよくわかった

びる

ん…
ぢぢ…

小さめで控えめなビラビラに
対してクリトリスはツンと
勃起上がり自己主張をしていた

クリトリスが…
こんなに
勃起して……

物欲しげに
フルフル震えてる
じゃねえか……っ

ひう……っ

はああっ

レロっ

おま…んこ…お…っ
美琴…のまんこを…
クリを舐めてる……っ

ダメだろこれは…
絶対やりすぎ…
……っ

でも…お前も…
お前だつてこのまま
じゃ辛いだろ……?

クリだけ…っ
クリだけ…
だから……っ

赤く敏感なクリトリスに
舌で小刻みに振動を加えると
美琴の腰は電流が流された
かのようにビクビク跳ねた

いやらしすぎる雌芯……

美琴はオナニーの
経験はあるのだろうか
それとも初めての刺激…?

なっ…
舐められてる…っ？

私の一番大事な
ところ……っ

敏感すぎて
自分でもまともに
触れたことがない
のに……っ

あっ…

あっ…
あっ…

どうしよっ…
どうしよっ…
刺激強すぎて
頭が働かな…
あぁ…っ！

たゝ助け…
せんせい……っ

せ…先生を
おこさ…ない
と…つ

ああ……つ
で……でも
こんな姿……

こんな姿を
みられたら…

ぴゅん
ぴゅん

クリトリスを
舐めしやぶりながら
膣口をゆるゆると
なぞり

びん

130...

指を一本ゆつくりと
差しいれた

うん

うん

うん

うん

すげえ…
まさに蜜つぼ…

びっくりするほど
熱くて……
トロントロで……

襷がきゅうきゅう
締め付けながら指を
奥へと誘い込もうと
してくる……

こんなエロい穴が
俺の妹についていた
なんて……

ミドッ
ミドッ

ミドッ
ミドッ

スー
スー

レロ
レロ

グ
グ

グ
グ

グ
グ

グ
グ

ん
ん

指を抜き差しするだけで
卑猥なじゅぽじゅぽ音が響く

その隙間に美琴が漏らす
小さな喘ぎ声が聞こえた

美琴は身体を硬くして
歯を食いしばり
必死で強烈な刺激に
耐えて続けている



美琴…エロい……
もつと美琴の乱れた
姿をみてみたい…っ

ふぁう

ぐんっ

ズラッ

ああ 上部分に
ザラザラが……っ
ここがGスポット……？

あぁあ

おぁあ

ニギッ

ニギッ

二本に増やした指を
カギ状に曲げそこを
グリグリと押し上げ
ながら擦りあげた

だめ…ッ！

だめッ！

はっ♡

はっ♡

やめてえッ…
そこらめえッ！

頭ビリビリ
してっ あッ あッ
ああ…っ！
あッ

あふッ

はっ♡

はっ♡

はっ♡

あッ

はああああッ！
ぐりぐりしちや…
だめえ…っ！

レロ
レロ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ニギッ

ニギッ

ニギッ
ニギッ

指の速度を上げて
ピストンを続けると

は
美琴はだらしなく
よだれをたらしながら
太ももを痙攣させはじめた

ああっ変だよ…っ
変だよ…っこんなの
知らな…っ

ああああっ
これ以上…っ

これ以上続けられ
たら私…っ
どうなつて…っ

はあっ
ああっ
アソコの奥が
ジンジンして……

はあっ、はあああっ
怖いっ……っ

ジンジンして
熱いイイイ……っ

怖いよおっつ
もうくる……っ
何か……っ

何か……
きちやうううっ
あっあっあ……

レロ
レロ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

あ...あ...あ

あ...あ...あ



にや…にやに
これ………

頭の中…
ふわふわして………

アソコ…溶けて
なくなっちゃった
みたいなの…感…覚…

♡♡♡

あ

はー♡

はー♡
はー♡

み…
美琴………

いったのか美琴
俺の手で……っ

俺の愛撫が
そんなに気持ち
よかったのか……っ

ぢぢぢ

ぐん

ぢぢ

ぐんぐん

いった後の性器は
感覚が研ぎ澄まされ

まるで剥き出しの
神経のようになって
いるのだろう

ぢゅる
ぢゅる

そこに再び舌をはわせると
美琴はもう声を我慢する
ことができます

いやらしく喘ぎながら
身体をよじり続けた

俺は舌を使い
クリトリスから膣口まで
全てを掃除するように
ねっとり舐め愛液を
すすりあげた

はっ
♡

はっ
♡

はっ
♡

はっ
♡

はっ
♡

あーっ

あー

ぢゅる
ぢゅる

ひ…ぬっ
ひんじゃ…

あああああつ
らめらめ…つ

ぢぢぢ
ぢぢぢ

さつきより
大きいの
きちゃ…ひいっ

からだおかひく
なりゆううつ

た…たしゆけ
たしゆけでえええ

はっ

はっ

はっ

くちゅ
くちゅ

くちゅ
くちゅ

くちゅ
くちゅ

くちゅ
くちゅ

ふうう…っ！
はあアア……んんっ

ズ
ン
ズ
ン

1310 ちあひ

女の子っ♡♡♡



あ…や…
やりすぎた…

びく

びく

びく
びく

びく
びく

びく

き…気絶…?
二度の絶頂に
まだ耐えられ
なかったか…



うん

うん

う...ん...

ん……？

美琴……あっち向いて
寝てる……
僕があんなこと言った
から……気にしちゃった
のかな……

びゅ

びゅ



昨日の夜のアレは
なんだったん
だろ……

気付いたら朝に
なつてたし……
夢だったの
かな……？

またおんなじ
ことがあつたら
どうしよう……

やつぱり先生に
相談してみよう
かな……

せんせえゝ……
せんせえゝ……

ん？

フん
フん
||

あつ……
なつ……なんて
言えはいんだろ

「何か」わからない
ものにエッチなこと
されたなんて……
恥ずかしくて……

し

あ：あのね
お化けつて……

お化けつて
もしかしていたり
するのかなあ……
なんて……

い
あ
いいぞつそこだつ
決める——っ！

日本
チャン
スツ
イル
チャン
スツ

あーつつ
惜しいいつつ

あつ
ゴメンゴメン
なんだって？

.....
.....

いや..
全然いいよ
あとで

ゴメンな..
これ準決だから..
もうすぐ終わる
からな

もっつ先生つてば
サッカー見だすと
全然人の話聞いて
くれないんだから……っ

Orz

……でもまあ……
何かに熱中しちゃう
先生もかわゆす……

ようっ

やっ



おニヤッ

ン



え...っ

おニヤッ

ン
ッ
ン

えっ……えっ……
えっ………？

うそ……っ
うそ……うそ………

ビキーン

ビキーン

ん……これって
昨日と同じ………

ビキーン

またあの
「何か」が………っ？

おハイハイ

だつてこんな
昼間なのに……っつ？

心臓がバクバクと大きく
動きだし全身から汗がでる

混乱する私にかまわず
「何か」の手はおっぱいを
驚づかみにしてたぷたと
揺らし続けていた

少しずつ胸を揉む手に
力がこもり形を変形
させられる

おっぱいが指で潰され
乳首がグツと飛び出す
様に勃起した

むっ
むっ

ドキ

ドキ

ドキ

せつ……
先……生……っ

ぶる

上手く声が出ない

ぶる

先生……っ
先……生……っ

よしっよしっ
いいぞっっ
そこだっ！

やっとのおもいで
絞り出した声は
先生の歓声に
もみ消されてしまう

あーっ
あーっ

せ…先生の
バカあゝ…つきう
気付いてよお……っ



んっ♡



レロ

首筋に熱くぬめったものが触れた
くすぐったさにビクンと腰が跳ねる

あゝ♡

な……
舐められて……る……？

首筋から耳元へ そしてまた首筋へ……
何度もぬめぬめが往復する

背筋にゾクゾクと快感が走った

……息……荒い……
こ……怖いよお……

やっぱり夢じゃ
なかったんだ……
昨日の夜のこと……っつ

「何か」は乳首をキュツと潰し
ヨリヨリと刺激し始めた

くりくりと指の間で擦られたり
ひっぱられたり…いやらしい
手つきでこね回してくる

乳首から甘い電流が全身に流れ
変な声が漏れてしまう

乳首…だめえ…っ
くりくりされたら
私いい……っ

やだよお…っ
隣に先生がいるのに…
エッチなことしないでえ……っ

ち…痴漢されて
るんだ…わたし…

自分の家なのに…
先生が隣に
いるのに……

姿も見えない何かに…
痴漢…されちゃつてる
よおお……っ

はあ……っはあ……っやだ…
やだよお 先生にもまだ
触られたことなかったのに…



ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ああ…
おっぱいいい…っ

乳首
舐められて…っ

片方の乳首をミルクを
絞るかのようにシコシコと
扱かれながら

もう片方は熱い舌で
ねっとり舐め回された

ときどき乳房の肉ごと
口のなかに吸い込まれ
先っぽをチロチロと刺激される

ああっやつ…
熱い…っ

ちくび…
じんじん
熱い…っ

ゾクゾクと甘い電流は
絶え間なく全身を駆け巡り

下腹部の疼きがどんどん
強くなるのを感じた

しゅわ

んん

しゅわ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

ダメ…っ！

ダメダメ…っ
またきちゃうっ

昨日みたいに
また私…っまた
おかひくううう…っ

乳首を甘噛みされた瞬間
あたまからつま先まで
強烈な甘い痺れが走った

んー！

んー！

んー！
んー！

ヤー！！

んー！
んー！



イツたのか…
美琴……………

乳首だけで
いつてしまう
なんて……………

ぎゅっ

ぎゅっ

はっ

はっ

エロい…本当に
エロイ娘なんだな
美琴は……………

昨日の美琴の痴態が
忘れられず……
また俺は妹に手を
出してしまった

快樂で力が抜けきった
美琴の体を後ろから
がっしり抱え込む

ぐっしりと愛液で
濡れた下着をズリ下ろし
閉じられた股と股の
狭い空間にチンポを
差し込んだ

ふ……あ……？

フリー

むぎゅ

な…に…つ
動けない…
あ…あその間か
何かが…

美琴が腰をずらそうと
するとお互いの性器が
ぬるりと擦れてチンポが
じんわりと疼いた

たまらず肉厚な
まんこにチンポを挟み
美琴の身体を上下に
ゆすり始める

大丈夫だ
いれたりはしない…
素股だけ…素股だけ
だから…

ふぎゅ

はあ…
は…

はあ…
は…

ふぎゅ

ふぎゅ

ふぎゅ

ふぎゅ

はあ…っはあ…っ
やばい…これ…
想像以上にイイ……っ

ビラビラは吸い付き
クリトリスは亀頭に
コリコリと当たる

性器にまとわりつく
ぬるぬるが気持ち良さを
増長させ

しびれるような
快感が全身へと
広がっていく

ああっ…

俺のチンポと

美琴のまんこが

刺激しあつて…っ

まるでセックス

してるみたいだ…っ！

わざとカリを
引っ掛けるようにして
美琴のまんこを刺激する

イヤだ…っ
クリに硬いのが
当たって……

ゴツゴツとしたチンポに
激しく擦られクリトリスの
皮がめくれ上がる

皮から剥き出しになった
敏感なクリに容赦なく
チンポを擦り付ける

痺れる……っ
またアソコが……っ

じわじわ痺れて
きちゃう……っ



気付か…ないで
先生…っ

どうかこつちを
みないで……っ
お願い……っ

私が下着を
おろして…

こんなびしょびしょに
アソコを濡らしてる
姿をみられたら……

こんな恥ずかしい姿
みられたら……
もう生きていけない
よおお……っ

何も知らずに
テレビに熱中している
男の横顔が滑稽だった

隣には淫らに喘ぎ続ける
自分の妻がいるというのに

のんきに
テレビなんか
みやがってこの男…

俺はお前の愛する
女の…お前がまだ
触れたことない所を

お前の隣で
味わっているん
だぞ…っっ！

腰のほうに
大きな快感の波が
込みあがってくるのが
わかる

もういへ……
いきそうだ……っ

美琴の乳首を刺激
しながら擦り付ける
スピードを速める

ああ ダメっ
激しくされたら……
もお……っ

もっもう
イク……ッ
いつちやうッ
ああああ……っ

いく　いく
いくぞ…　　いくぞ…　　つ
美琴　いくぞ　　おお　　つ

はっ♡
はっ♡
はっ♡

は、は、♡♡



En

3월

紅

キ
ン
ツ

$$\begin{matrix} P_{11} & P_{12} \\ \vdots & \vdots \\ P_{1n} & P_{1n} \\ \vdots & \vdots \\ P_{nn} & \vdots \end{matrix}$$



よしっ
次は決勝だっつ

あゝ燃えたあつ
凄い試合だった
よなつ 美琴！

はっ…
はっ…

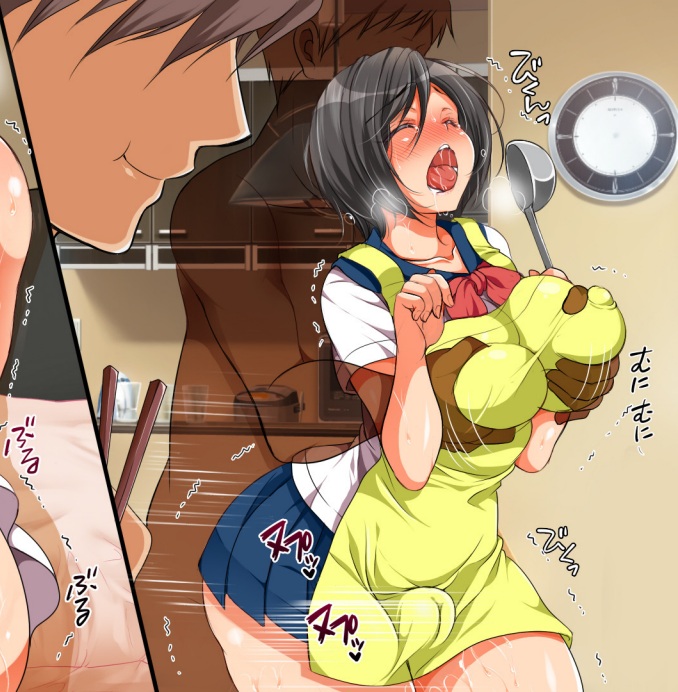
70
IL

70
IL

うっ…
うん…

しゅ…
しゅ…
しゅごかった…





それから「何か」は
時間や場所を問わず
あらわれて……

むにむに

まるで私の身体を
いやらしく改造するかの
ように

私の敏感なところを執拗に
摘み…擦り……舐めまわし……

絶頂に追い込んできた



先生にはもう……

むにむに

何も言えなかった……

うん！
美味い

何ものかわからないものに
いたずらされ簡単にイって
しまう自分が恥ずかしく……

情けなく……
罪悪感があった……

今度その原作の
映画行っか

ぶる

ぶる

ぶる

ぶる

ぶる

アッ

アッ

ぐちゃん
ぐちゃん



こんな簡単に..
イカされちゃう
なんて.....っ

せ...先生の前
なのに私.....ッ

くしゃん
くしゃん



ああ...つとんどん
身体が敏感になつて...

いつ..
イクッ

ダメ...つもお..
すぐイクちゃ...っ

おに
おに



ああ

ん

あ

ん

あ



あゝ♡

ん♡

イキかた…身体に
覚えさせられ
ちやつてるう…!!

あゝ♡

あゝ♡

は♡

は♡

は♡

は♡

くり♡
くり♡

ん♡

あゝ♡

私…っ
エッチな身体
に……っ

まだ処女なのに
エッチな身体にされ
ちやつてるよおつっ

クチュッ

グセツッ







おはよう
美琴っ

お：
おはよう……
先生……

あ…あの…
あのね先生……

はあ…

はあ…

お…っ
お兄ちゃんと
した……

約束の……
こと…なん
だけど……

ホヤ
ホヤ

もじ…

ん？

お兄ちゃんにお願いして
も…もう少し…期限を
早めてもらうとか…
できないかな……？

グニャ
グニャ…

と…取り消して…
もらうとか……

えっ…？



ど…っ
どうしたの？突然
そんなこと…

あっ…

そっか
もしかして僕に
気を使ってる？

あ…

う…

大丈夫だよ
もう変なこと
言いだしたり
しないから…

僕はちゃんと
待てるよ



美琴のことを
愛してるから
ちゃんと待つよ

ちがう……
ちがうの……っ

ズン♡

だから
安心してな

う…

ふ…
うん…っ

ほ♡

私が…
したいの…っ

セックス…
したいの…っ





13-7

13-7

13-7

13-7

13-7

13-7

13-7

はあ…っ
はあ…っ
やだよオ…

もおやダ
よお…っ

はっ

んっ

はっ

はっ

はっ

んっ

はっ

はっ





美琴は——
息を切らせて学校から
帰ってきたと思ったら

玄関の扉を閉めた瞬間
そのままその場でオナニーを
はじめてしまった

赤く勃起をしている
クリを指でせわしなく
擦りながら反対の手で
膣穴を刺激している

グチュグチュと卑猥な音を
立てながら2本の指を
出し入れする度に辺りに
まん汁が飛び散った



あ…っ♡
あっ♡

いい…
いいよお…

はああ…っ
気持ちい…
んあっ♡

は♡
は♡
は♡

は♡
は♡

べい
べい

くっ
くっ

ニギ
ニギ
ニギ

すげえ…
刺激を貪る
飢えたメスの
オナニーだ…

よっぽど学校で
我慢していたの
か…



半泣きになりながら
必死で指を動かし
快感をむさぼる姿は
今までの妹からは想像
出来ない

しかし最近の美琴は
隙があればオナニーを
している

トイレやお風呂の中…あの男が
いない場所を見つけては
すぐ下半身に手を伸ばすのだ

あの純情だった妹が
すっかり恥ずかしい
女になってしまった…

他の誰でもない
兄の俺のせいで
……

はあはあ…
たまんねえ
墮落した妹…
エロすぎる……





ふああつ
あうつつ
んああ…

んあ…
はあつ

いっ…んっ
イクっ…!

あつ!

イクっ…!

いっ…

んんんあ
あんんっ…!

ニイニイ
ニイニイ
ニイニイ

ニイニイ

ニイニイ

ニイニイ

腰を激しく痙攣させ
ながら絶頂に達した
それと同時に膣穴から
熱い汁が噴射する



美琴は
光悦の表情をうかべ
快感の余韻にひたる

う…

ああ…

はああ…

……だがその直後
またうねうねと
指の動きは再開された

ダメだあ…
まだ…

まだおさまん
ないよおお…





ふうう…っ
玄関で…何をして
いるんだろう私…っ

今…先生が
帰ってきたら
どうする…の…っ

あの「何か」に
いやらしいことをされ続け
私の身体は変わってしまった

「何か」にイカされれば
イカされるほど
アソコの奥が熱く…
強烈に疼くように
なってしまったのだ

恥ずかしい…っ
みつともない…っ
最低だ私…っ

こんなことしたく
ないのに…っ
したくないのに…

でも
指が止まらない……っ
オナニーせずに
いられないの……っ

クリトリスを擦ると芯の
辺りが……ジーンツと熱くなり
甘い電流が子宮に流れる

同時にGスポットを擦ると
腰が砕けそうなくらい
気持ちいい……っ

あの「何か」にされるのと
同じ事を自分でして
しまっているなんて……

あ……あ……
いやだよお……っ

もうやだあ……
気持ち……いい……っ

快感に…おまんこに…
頭がのつとられてる………っ

ああ…
またイキそ…っ
はあっ…はっ…

あっあっ
イク…っ

イク…っ！

あ…っあ…っ
はあ…っ
気持ちい…っ

イク…
イクイクっ

んん…っ
はあんんんっ



はっ...

おん♡

くっ♡♡

びん

膣内が収縮しているのを
指で感じる……

いった瞬間子宮が
大きく揺さぶられ
うずきは快感に変わり
全身がトロけている
ような感覚になる……



だけど
その快感はわずか
数秒ほどで引いていき…
また子宮は辛く…辛く…
うずきはじめる……

うあ…あ…
あ…あ…

また…あ

うゝ
うゝ

うゝ
うゝ

うゝ

うゝ

うゝ

うゝ

無理…

うあ…あ…
あ…あ…

終わらないっ
終わらないっ

いつでもいつでも
辛いよおお……っ

オナニーやめたいのに
やめられない……っ
だれかあ……誰か
助けてええ……っ

知らなかった
性欲というものが
こんなに辛いなんて……っ

二十四時間ずっと
アソコの奥が疼いて……

授業中も……
友達と喋っている時も
関係なく疼き続けて……
アソコに刺激を送りたいと
思ってしまう……っ

おまんこのことしか
考えられない……っ

先生：
先生はいいな…
ずるいよ…っ

男の人は出せば
楽になるん
でしょ…っ

だから
「待つ」なんて
言えちゃうん
でしょ…っ

女の子は
ちがうの…っ

女の子はオナニーで
何回イッたつて
ちつとも楽に
ならないの…っ

普通にしてる時でも
ずっとあそこが疼いて
ホントは気が狂い
そうになってるの…っ







びしょ

あーっ

あーっ

びしょ

ア……あ……

また疼いて……
助けてえ……

もう無理い……
たす……助け……
たしゆけてええ……

あ……あ……
硬い……の……

ダメだよお……
いくらクリや入り口で
イツたつてダメなんだ……

直接……直接奥を……
子宮を刺激しなく
ちや……

硬い……の……
ほ……し……

△

ふんえ……う!?



オッ
ッ

ふあ……っ

グズ……っ

し……っ
舌をつかまれ
て……

まつ……
また「何か」が
きたの……っ？

グズ……っ

1310
ちゅっ

な…っ何かを
舌に押し当て
られた……

ぐんぐん……

なにこの匂い……
……まさか……

ぐんぐん……

まさか……



ズグググ

グググ

み...美琴...っ
美琴っっ!

美琴おおおっっ!

美琴っもお

我慢できねえっ…

フエラなら…っ

フエラなら

かまわねえ

よな…っ

ああ…っ

妹の舌…っっ

妹の口いいっっ

美琴の頭を掴み固定させ
そのまま腰を前後に
揺り動かした

とたんに頭のでっぺんから
爪先まで甘い快感が突き抜ける

すげええ…っ
美琴の口が…っ
俺のチンポを
咥えてる…っっ

美琴の口…

ヌルヌルであつたか

くて…チンポが

トロケそうだ…っ…っ！

か……硬くて熱い……
これって……「何か」の……
おっおちんちん……？

ああ……フエラだ……
これってフエラだあ……

私……「何か」に
フエラチオさせら
れてるう……！

ぐじゅぐじゅと唾液の
すべりを利用しながら
口内の粘膜とチンポを
擦り合わせた

上顎のざらざらに
敏感な亀頭部分を
刺激されると思わず
声がでそうになる

チンポが出入りする度に
美琴のポツテリとした唇が
めくれあがるのが
たまらなくエロかった

どうしよう…
なんだか
イヤじゃないよ…
どうしよう…

私「何か」が
怖くなくなつて
きてる……っ

口の中が硬いもので
埋め尽くされる
のも……

ものすごい量の
お汁が喉にのど奥に
流れ落ちるのも……

ああ…
イヤじゃ
ないのお…っ

無理やり
おちんちん口の
中に入れられるの
イヤじゃない……っ♡



うお…っ
美琴…っ？

み…自ら
フェラを…っ？

美琴の頭が前後して
チンポを扱ってくる

鼻で息をしながら
喉の奥へ奥へと咥え込み
根元までほおばっている

喉元にチンポが届くとまるで
丸呑みされるかのように
粘膜がうごめき

舌はまるで独立した
生き物のようにヌルヌルと
裏筋に絡んできた



すっ凄すぎる……っ
気持っ……イイいつつ

初めてでなんで
こんなに上手く……
おおおっ舌すげえ……っ

飢えてるのか……っ

そんなにまで
チンポに飢えてる
のか美琴おお……っ



ああ…っ
おちんちん…っ
おちんちん…っ

太くて硬くて…
凄いよお…っ♡

これがアソコに
はいつたら…
アソコをグチュグチュに
かき回してくれたら
どんなに…っ

あああ…っ
イッイキそ…っ
また…っイク…っ

んん…っ♡
すごい…っ
すごい大きな波
きちゃう…っ





くる…つ
きちやう…つ

お前の喉奥にチンポを
突き立てて全部
流し込むからな……っつ！

**あ
あ
：**

**く
る
：**

**く
る
：**

！





ああ……ああ……
飲ん……じやつた……

私……なにをしてる
の……私には
先生がいるのに……

やっぱり先生に
ちゃんと相談
しないと……

こんなこと
終わらせない
と……

揃

揃

揃

終わらせ…
ないと……

きゅん♡
きゅん♡

んん…
んん…

ガッ

ガッ

ガッ





先生……
その試合
もうすぐ
終わるの……？

いや
もう終わったよ
これはハイライト
だから

どうしたの
なにか用？

う……
うん……

先生に……
相談を
しないと……

HDTV

でっ……でも…
もうちよつと…

もうちよつと
だけ……

うわっ

びちゃ
びちゃ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

もも…

もも…

ああ…「何か」の
オチンポ舐めてから…
疼きがもつと
ひどくなったよお……

もう限界…だ…
美琴からフェエを
してもらってから…

擬似セックスでは
余計に欲望が強く
なるばかり…

本当のセックスが
できないなら…

こんなことは
いつまでも…
やめるか…
それとも…

あつ
僕の携帯鳴ってる
ちよつとゴメンな

もも…

もも…

いん…

いん…

70ルルル…

70ルルル…

70ちゃ
70ちゃ

え……あ
あれ……？

急に……
「何か」がいなく……
なっちゃった……？

う……うそお……
どうして……
そんな急に……

あ……

はぁ……
はぁ……

あつ……

あ……や
やだあ……

ひゅ
ひゅ

ガッ

ガッ



「何か」あつ…
待ってよおお…っ

ま……
待ってえ……っ！

あ……っ

み……
美琴……？

私……

…「何か」を
呼びとめて……

何を言おうと
してるの……



だめよ……っ
私には先生がいるのに
それだけは……っ

あ……

あ……

私から
口に出していったら……
先生のこと本当に
裏切ることになる……っ

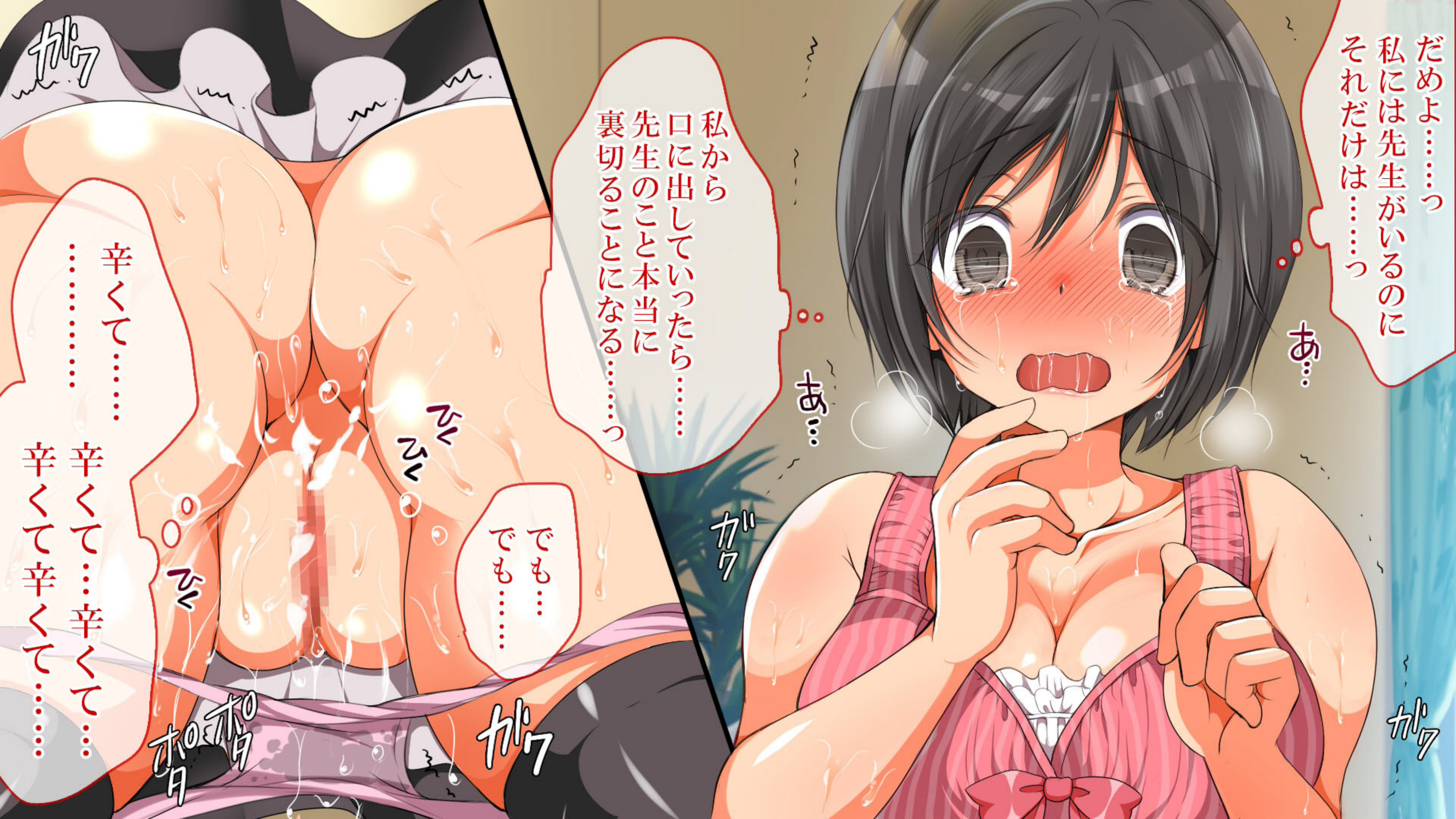
でも……
でも……

辛くて……

……

辛くて……辛くて……

辛くて辛くて……



ふ…
ううう…っ

う…

わからない…っ

ポロ
ポロ

揃

ポロ…

揃

うゝゝゝゝ

もう…っ
どうしたらいいのか
わからないの…っ

み…
美琴…っ
揃

美琴おおおおおお

／ちゅ…♡

ふむう……っ

んんんん

いきん...

あつ...
キス.....

キスウ.....

いきん...

ちゅー

ちゅーらら

キシユウウウ.....

いきん...

いきん...

キシユ...されてる.....
ああ.....「何か」に
キシユされてるうううう

ふぁア…っ

はじめての
キスなのに……

こんなエッチな
キス……

くちゅ
くちゅ

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

分厚くて熱い舌が
口の中で暴れて……

はっ♡
はっ♡

ねっとりしゅごいイイ…
キシュってこんなに
気持ちいいのおおっ…？

こんにゃ：口の中を
犯されるような
キシユされたらあ…

身体の力…
ぬけて…
トロけちゃ…

くちゅ
くちゅ
はっ♡
はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

あぁ…いやらしい
キスウ…♡♡

も…ダメ…
キシユだけで
イツちゃう
よおお…っ

くちゅ
くちゅ

くちゅ
くちゅ

はわあああ……
乳首いいい……っ
らめえっそれらめえ

キスされながら
いじられるのおお
ああああおおおあ

くちゅ
くちゅ
はっ♡
はっ♡

く
く
く

フリ
フリ
フリ

はっ♡

はっ♡

はっ♡

これイくらううつ
こんなの絶対
イクよおおお……っ





あ...っ
あしよ...っ

くちゅ
くちゅ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

おチンポ
当たって.....

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ



ぐん

ああ……くる……
挿れられる……
……っ

ついに……
ついにいい……

くちゅ
くちゅ
はっ♡
はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

フリフリ

くっくっ……

ああ……くる……くる……
くる……くる……
くりゅうくりゅう……





せ...先生...っっ!!

僕に話が
あったんだろ？

なんか...
最近少し様子が
変だもんな？

ちゃんと
話聞くから何でも
言つてごらん



あ……う……



せんせ……
私のこと……
気にしてくれて
たんだ……

やっぱり優しい……
……大好き……

そうだよ……
やっぱり先生に
隠し事なんて……



だけど……だけど
今は……

あ…そうだった先生に全部
みてもらえば…いいんだ…



ガッ

挿…れてえ…

ガッ

ひひ

くおあ…♡

ガッ

お願い…「何か」…
このまま挿れて…っ

お願い…「何か」…

このまま挿れて…っ

美琴？
何言って……
あつ服が……

いいのおっ！

服なんか
どうでも
いいのおおっ

みててっ先生……っ
そのまま黙って
私のことみてて
ください……っ

み……
美琴……っ

いいんだな……っ
美琴……っ





ズン
グ...

グッ

グッ

グッ

グッ

あ...♡

あ...♡

お♡

グッ

グッ

ああっ
入ってくるぅ♡

先生の前で...
私のおまんこに
「何か」の
おチンポがあ...

ズ
グ
グ...

グ
グ

グ
グ

ごっ...ごめ...
ごめんねえ
先生...

でも...

この「何か」は
見えないから...

見えないんだから
いないのと同じだよな？

だからあ
いいよねええ...つつ?..?



裏切ってるわけじゃないんだよおおつ

ズグググ

アッ

アッ

アッ

すすす



すげえ……っ
中がビクビク
痙攣して……

挿れただけで
イったのか
美琴……っ

処女肉ならではの
きつい圧迫感……

ジッとしていても中がうぐめいて
チンポを絞り上げてくるのが
わかる……っ

ああ……俺のが
美琴の中に
埋まっている……

俺は今……妹の……
妹のまんこの感触を
感じてるんだ……っ

み…
美琴…

美琴…
大丈夫…か…？

青ざめた男が
よろめきながら
美琴に近づこうと
してくる

みち…
みち…

近づくんじゃねえ…っ
美琴がいっただろ

お前はそこで
みてろっつー！

アッ
♥

んあつ
♥

美琴の初まんこは
俺がじつくり
味わってやるっ！

あつ…ああつ
あああああ♥♥

腰を大きくゆすりチンポで
膣壁を擦りあげると
全身に強烈な快感の波が
一気に押し寄せてくる

うおおおつ…なんだ
このまんこお…つつ
膣全体が吸い付く
ように締め付けて
きて……

ザラザラのヒダが
絡みついてくる…つつ
凄え名器…つつああっ
まったく気が抜けん



ふああああんっ
ずつと疼いていたところお
直接ゴリゴリつてえつつ…

きぼぢいっ…

いいっ…きぼぢいっ
きぼぢいよおおつつ

あああつもぅ

どうなつてもいいよおつつ
おまんこメチャクチャに
してえええつつ

せつ せんせ……つ
せんせ私ねええ……つ

「何か」と
セックス
してるのお……♡

♡ あっん♡

♡ わたつ……♡
私ねえ……つ
こうやって
ずっとお……つ

♡ あっん♡

「何か」わかんない
ものにエッチなこと
されていたのおおつ♡

「何か」にいつぱい
エッチなこと
されてええっ…

私…っ
エッチな…っ

ああっ
あっ♡

エッチな娘に
なっちゃったの
おおお…♡

エッチが大好きな
娘になっちゃったああ
あっ♡あはあっ♡
エッチしゅごいよおおっ♡



わ…たひの…
はじめてエ…っ

オッパイも…
アソコもおお…

キスも…
セックスも全部…っ
私の初めては
「何か」に…

はじめてっ

「何か」のものに
なっちゃったあ…っ
先生に初めてあげる
おまんこだったのに…
ごめんねええ…っ



子宮：すごいいう
きゅんきゅんくるうっ

もうらめえッ
死んじゃ…っ

ひんじやうッ
ひんじやううッ

はあああつッ
ひんじやうくらい…っ
きぼちいいいつつ！

ああッ
くる…ッ

くりゅッ

おおッ

大きなのッ
くりゅうッ

今までとは
違う…ッ

比べ物にッ
ならない
くらいのお

大ひな…
大ひな快楽の…
波いいつつ…!!

おおッ

おおッ

おおッ

おおッ

んあッ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

ちゅっ……っ
お願い……ひゅっ!!

ちゅっひてっ♡
ちゅっひてええっ

くりゅのつくりゅのっ
イツちやうのおおっ♡
一人じゃ
こわひいいいっ♡

お願いひいっ♡
ちゅっ……ちゅっ
ひてええっ♡♡



美琴の舌が
貪欲に絡んでくる

流し込んだ唾液を
必死に飲みほしている

美琴と軽いキスすら
したことのない男の前で
ねっとり濃厚な
ディープキスをした

男が想像すら
できなかったであろう
美琴の雌の姿——



あああゝゝゝゝ
きしゅゝゝゝゝ

きしゅうう
きしゅ好きいふふ♡

あゝ♡

あゝ♡

お口にも子宮にも
きしゅされてりゅうう♡

もうらめツもうらめ
もうらめええええつ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ♡
あゝ♡

あゝ♡
あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

うおお…つ
美琴の中すげえ
勢いでうねって……

あゝ

あゝ

あゝ

イツ…
イクッ♥

イグッ
イツ…♥

おあつ…

あつ——イツ…♥
つお——！

中の肉が
ありえないくらい
絡み…うねり…
チンポを奥に引きずり
こもうとしている…っ

そんなに
ほしいのかっ
俺のチンポが…っ

チンポ汁がつっ！

だすぞ美琴っつ
中に...だしてやるっつ

あうあう
♡

だ

だ

だ

俺の子種を...

あ
あ
あ
あ
あ
あ
♡
♡

は

は
♡

は
♡

何十年も募らせた
お前への想いを
受け取れええええっつ



み...ん...ん...

み...ん...ん...

あああ♡

アッ

あああ♡♡♡

すげえながい
射精…つつ！

あああつこんな
びゆるびゆる…つ
気持ちいい…つ

ああ…あああつ
絶対…今が
人生で一番気持ちいい
瞬間だあああつ！

びゅる

びゅる

たっ
たっ

たっ
たっ

たっ
たっ

美琴は2度大きく身体を
波打たせ
更に小さな波にあわせて
ガクガクと体を痙攣させ
続けている

今までにない
激しい雌イキ

びゅる
びゅる

あああああ……っ
治まんなひ……っ



あ……っ
あ……っ
あ……っ

イクの止まんな……
……あ……あ……あ……あ……!!

長い長いっ!!
イクの長ひいいいっっ



ナ
ナ
ナ

ぶ
ぶ
ぶ

び
び
び

ナ
ナ
ナ

ん
ん
ん



あああああ!!
イクのつ何度もくるうっ
はイキツパなひいいいっっ

あああ!

あ……あ……

や……やつと
治まっ……

は……は……
は……は……

……
……



…イク瞬間…
「何か」の聲が
聞こえた気が……



私の名前
呼んでた…

どこかで聞いた
声……あの声は
……………

ふえ…あつああつ

くっ
るっ

フリッ
ッ

らっ…らめ…っ
今はまらああ…っ





いったあッ！

はっ♡

あッ♡
あッ♡
あッ♡

はっ♡

あッ♡

ドキュッ♡
ドキュッ♡
ドキュッ♡

もっ♡いったのおおっつ♡
らめっ♡らめえっ♡
なか♡敏感れええっつ♡！

ドキュッ♡

ドキュッ♡
ドキュッ♡
ドキュッ♡

あッ♡
あッ♡
あッ♡

はおああああッ♡
バックパンパンらめえっ♡
子宮押しつぶされて♡
りゅううっつ♡

ドキュッ♡
ドキュッ♡
ドキュッ♡

♡
♡

あつあああああ！
こわれえええつつ

ひっひいっ感じすぎい
ひっひんじやあああああ

ズ

あ

ズ

ズ

んあ

ズ

もっ、ひいくううああああ
イツぢやあああああ♡

ズ

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

は…おお…
らめ…つまた♡♡
イキツぱなしイイ…っ

おあっ

オ

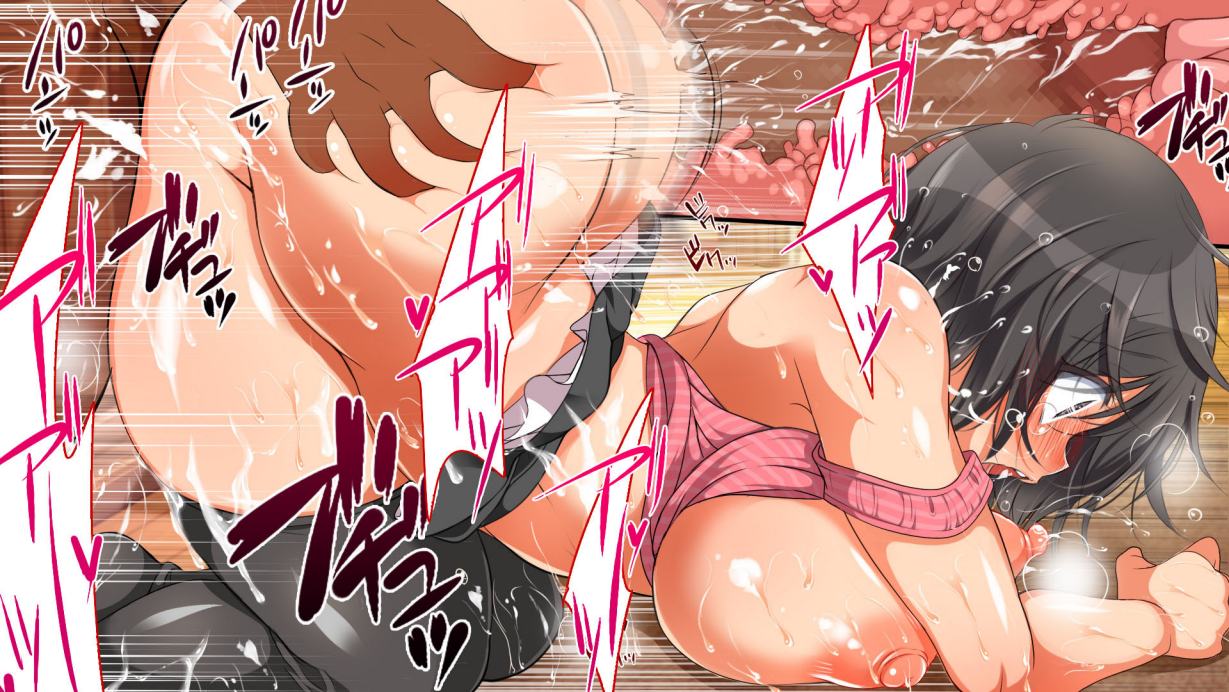
と…飛びゅ…
もう飛んじやあぁあぁ

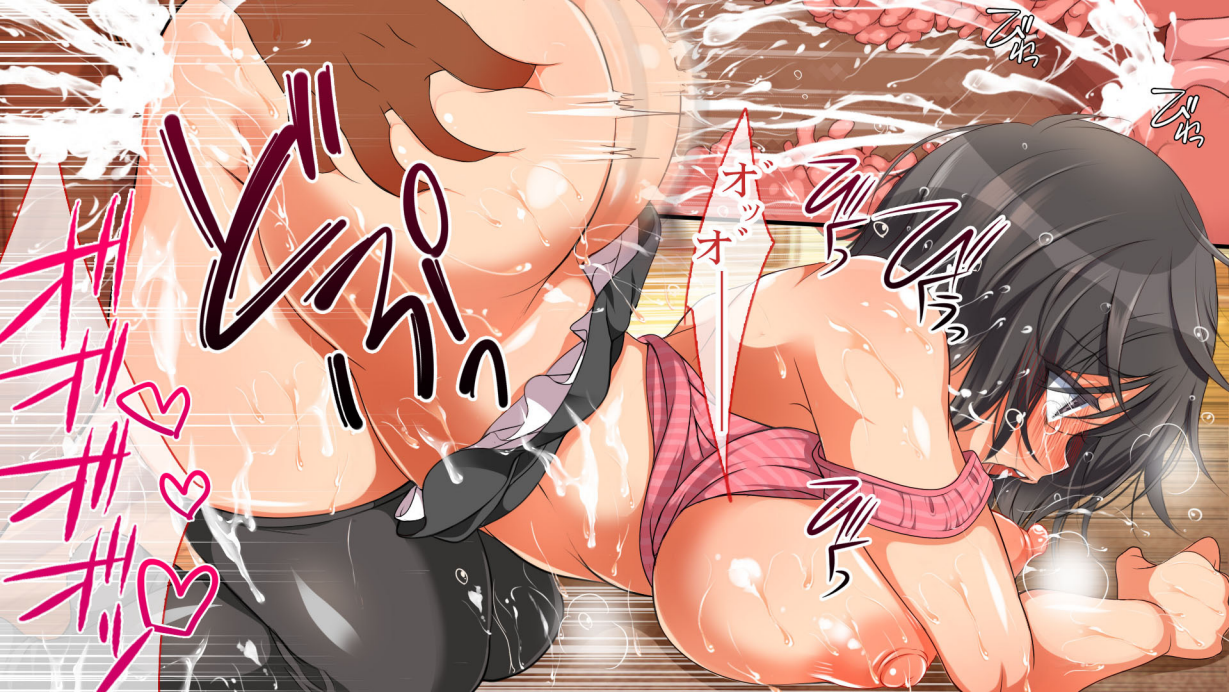
あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

おっおチンポお
すごしゅぎてえ♡♡
あぁあ…完全…
飛んじや…っ







びん

いっ

おちほ

いっ

びん

おちほ

トキ

トキ

トキ

トキ



トクッ!!

やーいっ♡♡♡♡♡

せーのっ♡♡♡♡♡

トクッ!!



あ……



これ……だあ……
結婚……とか
らないいい……

精液でおなか
イツパイに……
満たされりゅ……
ことおお……

いっぽっ
いっぽっ

おんなの
ひあわせつて……
これ……にゃんだああ
……
♥♥♥

美琴……

愛してるぞっ……



先生
いつでもしゃべり

うん
いつでもきます



あ…あのさ…
あのさ美琴

前に言ってた話
なんだけどさ……

え？

やっぱりお兄さんとの
約束は取り消して
もらおうな……

もうあの約束は
必要ないよな…？
ぼ……僕も…
僕だって……

え…でもお…
はっ…
あはあ……っ

ちよつとお
無理…かもお…



お兄ちゃんつて
私のこと……んんっ
いっぱい……っ♡

愛してりゅ……
みたいだからあ……♡

くっ
くっ
くっ
くっ
くっ

ふいゅっ♡
ふいゅっ♡

ふんっ

ふんっ
ふんっ

HAPPY END...♡♡♡?

制作:まろん☆まろん
<http://marron-marron.jp/>